

bibligare

● まちなか図書館情報紙——[ビブリガーレ]

世界を広げ、まちづくりに繋げる
“知と交流の創造拠点”

まちなか図書館情報紙「bibligare」とは
bibliは「本」、ligareは「つながる」を意味し、
本を通して人、街に繋がる図書館をイメージした造語です。

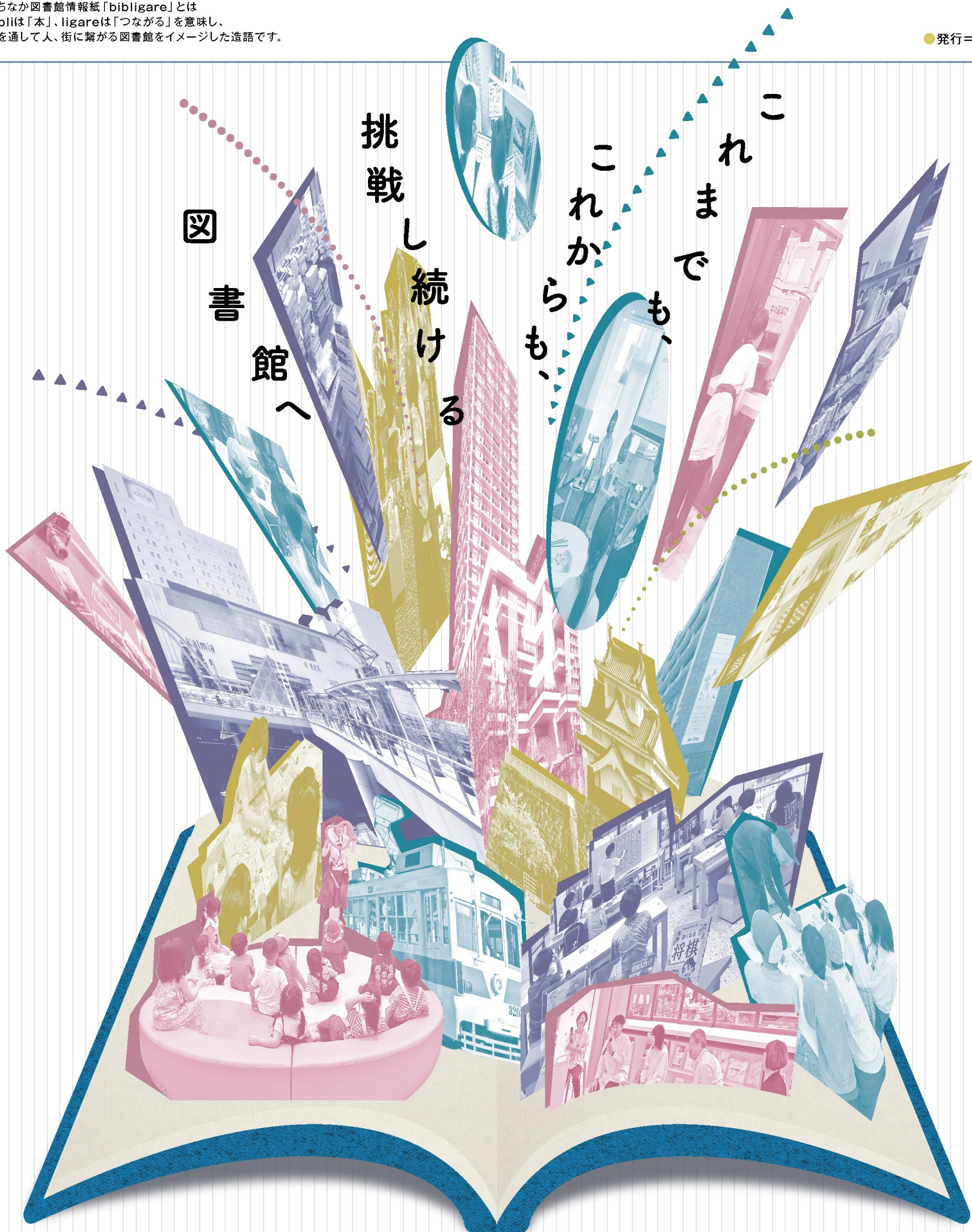
特集1

Vol.10記念
bibligare発行の
ウラガワで。

特集2

Parisを感じた夏

●発行＝豊橋市



音読の時間

スタッフが選んだ短い文章や詩などを声に出してみんなで読む会です。この日は「フランス」をテーマに、明治から昭和にかけてフランスを訪れた文豪たちが、その驚きを率直に綴ったさまざまな文章を音読して楽しみました。

音読の時間
8/27 13:30~14:00
豊橋市立図書館
まちなか図書スペース



ヘルス&ウェルネススペース

おはなし会

毎月、豊橋市国際交流協会と連携し、さまざまな言語で開催しているおはなし会。8月は、サンマルコ出身のペロ・ディ・ディエさんがフランスの挨拶や暮らしについて紹介をしたり、フランス語で読み聞かせをしてくれました。



キッズスペース

図書館夜会

水上ビルにあるお店「珈琲とカヌレ」から中村雅代さん、神藤結生さんにお越しいただき、フランスの伝統菓子カヌレの歴史や作り方、おいしい食べ方などについてお聞きしました。参加者の方とも楽しく交流できました。



パフォーマンススペース

パリも感じた夏

パリオリンピック・パラリンピックにあわせて、8月の一ヶ月間、館内のいたるところで関連イベントを開催しました。

パリのまちなか

◆展示

開催地のパリってどんな街？フランス・パリの日常を水彩画で描きつけている豊橋出身の画家、近藤貴洋さんの作品とコラムを展示しました。優しい色の絵とほんわかする文章に、パリに行つたことがある人もない人も、思わず足を止めて眺めていました。

◆トーク

展示に合わせて、20代のころからパリに魅せられた近藤さんに、パリのまちなかで気づいたことや、作品制作の裏側、使用道具についてのお話をお聞きしました。フランスのミニクイズや、近藤さんが撮影したパリの写真を見ながらのトークは、時間が経つのがあっという間でした。



アートスペース

中央ステップ



ワークショップスペース

フランスの伝統工芸に触れる

カルトナー・ジュの技法でブックケースを作ろう

フランスの伝統工芸であるカルトナー・ジュで、文庫サイズのオリジナルブックケースを作りました。さまざまな年代の方に参加いただき、それぞれお好きな柄で楽しみました。



パフォーマンススペース

まちなかブッククラブ

この本について語ろう

毎月1回まちなか図書館で開催している、「まちなかブッククラブ」。8月の課題本は、フランスと言えばこの本！と、サン・テグジュペリの『星の王子さま』について、参加者同士で自由に感想を語り合いました。「昔読んだけど、今読むとまた違った感想を持った」と、読書の楽しさを共有しました。

特集棚も

アスリートのおすすめ本を特集したり芸術、ファッション、心意気さまざまな切り口でフランスをお届けしました

アスリートの視点

豊橋ゆかりのアスリートを、ご本人のおすすめ本や貴重なグッズとともに紹介しました。

輝くメダルの向こう側

オリンピックの舞台で輝くアスリートたちを支える影の主役にスポットを当てました。

芸術の都

芸術の都、パリ。絵画の歴史に革命をもたらした印象派の巨匠たちの魅力を伝えました。

フランスのエスプリ

つねに時代の最先端をいく、高い美意識と合理的で自由な精神。フランス人の心意気が学べる本を集めました。

ファッション・クリエイション

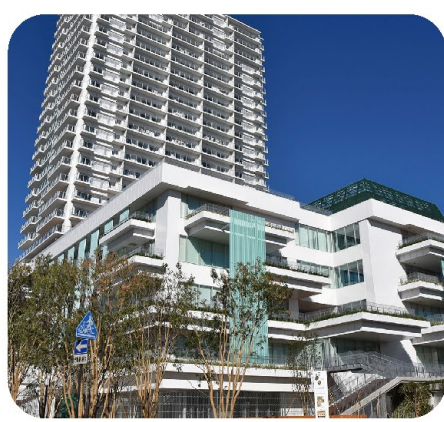
ランウェイを彩るデザインや、こだわりのジーンズ。ファッションを創り出す現場をお届けしました。

編集後記

開館前から発行しているピブリガーレも、今回で10回を迎え、一度発行を終えることとなりました。毎回楽しみにしてくださっていた皆様に心より感謝申し上げます。これからもまちなか図書館をどうぞよろしくお願いいたします。



発行日/令和7年3月
制作/株式会社 エクスラージ
アートディレクター: 共田慎性、デザイン: 山本訓之



まちなか図書館

所在地 豊橋市駅前大通二丁目81番地
[emCAMPUS EAST 2階・3階]

開館時間 9時~21時
休館日 第4金曜日(祝日のときは前日)
年末年始、特別整理期間
お問合せ 電話 0532-21-5518
詳しい内容については、ホームページをご覧ください。
「豊橋市まちなか図書館」で検索

各種サービス
LINE
Instagram
Podcast